

## 7. 処理手間物・困難物

処理手間物・困難物とは、通常のPCB廃棄物の処理に比べて手間・時間を要するものであって、令和2年7月まででトランス14台（全て平成30年度中に処理完了）、コンデンサ87台（内86台処理済み）、廃PCB油類558本（内138本処理済み）が存在しています。

これらのPCB廃棄物の種類、状況、処理方針、処理年度等については、以下に示すとおりです。

トランス類については、コアをコンクリートで固化したもの、地下設置物、高所設置物や水没したトランス、コアが炭化したもの等がありましたが、現地抜油・解体後処理施設に搬入する等の対応により、14台全て処理を完了しました。

同様に、コンクリート固化されたコンデンサや多量保管事業者の廃PCB油についても、次のとおり処理を進めています。

### 1) 処理手間物のコンデンサ

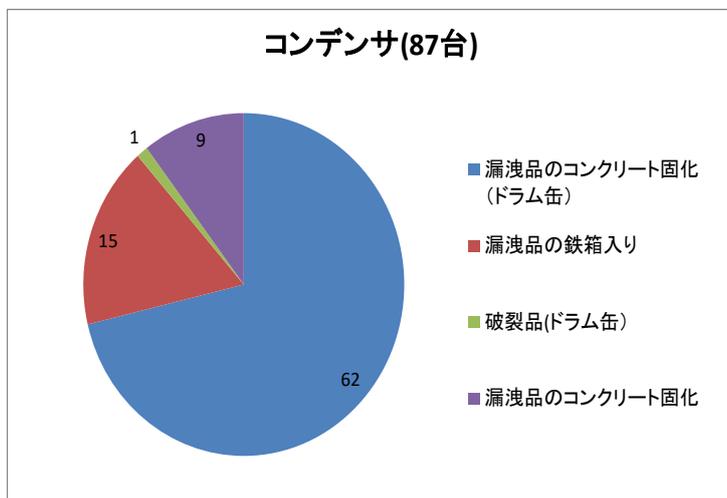


表-18 コンデンサの状況と処理方針

| 種類                   | 台数 | 重量kg/台  | 状況                           | 処理方針                              | 調査着手年度 | 処理済・または予定年度 |
|----------------------|----|---------|------------------------------|-----------------------------------|--------|-------------|
| ① 漏洩品のコンクリート固化(ドラム缶) | 62 | 10      | 破損品・漏洩品をコンクリート詰めし、ドラム缶に封入    | 保管者にてコンクリート除去、搬入後、ドラム缶ごとVTR処理     | H26年度  | H28年度済み     |
| ② 漏洩品の鉄箱入り           | 15 | 50      | 保管庫の入口を溶接し、保管鉄箱の蓋も溶接         | 保管者にて鉄扉、溶接箱の開封、漏洩品を補修(碍子部)後、VTR処理 | H26年度  | H28年度済み     |
| ③ 破裂品(ドラム缶)          | 1  | 38      | 破裂コンデンサと汚染物の混入               | 保管者にて分別後、VTR処理                    | H26年度  | H28年度済み     |
| ④ 漏洩品のコンクリート固化       | 8  | 100~140 | コンデンサの周囲に型枠を作り、コンクリートを流し込み固化 | 保管者にてコンクリート除去、搬入後、VTR処理           | H27年度  | H29年度済み     |
|                      | 1  |         | コンクリートにて固化(写真)               | 保管者にてコンクリート除去、搬入後、VTR処理           | H26年度  | R2年度処理(予定)  |
| 合計                   | 87 |         |                              |                                   |        |             |

処理完了